



市民病院

ハナちゃん通信

市民病院の地域連携室を紹介します

問 市民病院管理課 ☎48-5050

市民病院では、地域の先生方と互いに連携しながら、地域の皆さんが安心して医療を受けられるように、かかりつけ医とつながっています。

地域連携室では、地域の先生から紹介を受けたり、紹介してもらった先生へ報告書を送ったりしています。専門病院へ紹介の場合は受診予約をしています。その他に地域の医療機関・福祉施設などとの連携、地域の訪問薬剤師との窓口、地域包括ケア病棟入院の窓口をしています。

このように、市民病院と地域とのパイプ役を地域連携室が行っています。地域連携室のスタッフは、優しく丁寧に分かりやすくを心掛けて対応します。分からないことがあれば、気軽に声をかけてください。あなたはかかりつけ医がありますか。市民病院はかかりつけ医を持つことを勧めています。

Q かかりつけ医って何ですか？

A 健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近で頼りになる医師のことです（日本医師会より）。

Q かかりつけ医と市民病院の役割分擔って？

A ずっとあなたを診てくれるかかりつけ医は、入院や詳しい検査が必要な時は、市民病院に紹介します。市民病院は、専門医による診察、精密検査、手術、入院など治療を行い、落ち着いたらかかりつけ医に紹介します。



碧南の歴史へのいざない

問 文化財課 ☎48-6602

No.92 空中写真散歩(10) ～前浜新田～

前浜新田は、文政9年（1826）に大浜村、棚尾村、伏見屋外新田の地主であった中根又左衛門、藤次郎の4者で開発を出願し許可された新田です。翌年には大堤防が完成、次の年には試作植付けを行い、作物が収穫された文政12年（1829）に実質の完成をみました。

その後は、幕末や戦時中に起きた地震に伴う地盤沈下、暴風雨に伴う堤の決壊などの困難を克服し、今でも良好な農地として維持されています。今でも、新田の南側堤防に、明治期に服部長七が人造石工法で修復した部分をみることができます。

なお、前浜新田の南にある川口町は、昭和21年（1946）に農林省による国営の干拓事業として始められ、昭和31年（1956）に完成したものです。



△米軍 1948 年撮影／国土地理院提供